

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 消防課

担当名:

内線: 548-5411

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p8	消防学校施設・設備整備等事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	消防学校費	
事業期間	平成16年度～	根拠法令	消防組織法第29条及び51条			針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール
						分野施策	0101	危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット
1 事業概要	<p>教育訓練の実施に当たっては、安全性を確保し、実践に即した教育訓練を実施する必要がある。そのため、保有資器材を点検・修繕し、老朽化した資器材を更新する。教育環境の整備を行うため、老朽化した学校設備の更新・整備を行う。</p> <p>ア 消防学校教育訓練資器材充実強化 △1,229千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 教育訓練資器材整備に要する経費 61,681千円</p> <p>(ア) 消防ポンプ車更新 39,041千円</p> <p>(イ) 警防・救助訓練資器材 20,523千円</p> <p>(ウ) 訓練用資器材修繕 2,117千円</p> <p>イ 訓練施設の改修・設備整備に要する経費 1,562千円</p> <p>(ア) 実火災訓練用資器材 1,562千円</p> <p>ウ 教育訓練業務に要する経費 379千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 令和5年度 消防ポンプ車更新、実火災訓練装置点検</p> <p>イ 令和6年度 消防ポンプ車更新</p> <p>ウ 令和7年度 消防ポンプ車更新</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>社会の消防に対する需要に的確に対応できるよう、消防職員の技術を向上させることで、災害等から県民の生命・財産を守り、県民の安心安全に資することができる。</p> <p>教育訓練実施状況</p> <p>令和2年度 初任教育113人 専科教育他514人 消防団教育123人</p> <p>令和3年度 初任教育248人 専科教育他658人 消防団教育521人</p> <p>令和4年度 初任教育296人 専科教育他746人 消防団教育994人(予定)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>高度・特別高度救助訓練において、埼玉県中央広域消防本部の資器材を借用し、訓練を実施している。</p> <p>(5) その他(前年からの変更点)</p> <p>なし</p> <p>(6) 補正予算の概要</p> <p>入札差金及び経費節約による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員(人件費) 9,500千円×5.5人=52,250千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
		県債							
決定額	△1,229	△1,000						△229	62,393
現計額	63,622	39,000						24,622	

## 事業内訳書

事業名	消防学校施設・設備整備等事業費		
単位事業名	消防学校教育訓練資器材充実強化	予算額	△ 1,229千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 総務債	△1,000	—	消防学校施設整備事業債
一般財源	△229	—	
合計	△1,229	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△946	—	経費節約による減額
役務費	△208	—	経費節約による減額
備品購入費	△75	—	入札差金による減額
合計	△1,229	—	